

第3回

志を再び - Re ambitious -

私のターニングポイント

株式会社 Re ambitious

代表取締役 福島 努

最近では本を年間500冊読むほどの愛読家は、

その人の悩みや時期にあった本を薦める本ソムリエとなった。

これから本を読み始めたい方には、喜多川泰氏の「書齋の鍵」を

お薦めする。きっと本を読むことが好きになってくれることだろう。

弊社は 2012 年 4 月に神奈川県秦野市にてリハ特化型デイサービスとしてリハセンター R-studio を開設。弊社の理念は“私たちはリハビリテーションを通じ、「できるを明日へ」つなげ周りの人を幸せにできる「人間・健康・地域づくり」に貢献していきます”と掲げている。

現在、スタッフは総勢 30 名となり、リハ特化型訪問看護ステーションとして訪問 R-station、フィットネス、子供向けスポーツ教室を展開している。

学生時代、理学療法士になっても一番になれなかった葛藤、挫折。起業までの決意が僕にとってターニングポイントとなった。

やりたいこと、自分の使命とは何なのか？自問自答を繰り返し、自己啓発本や起業家の自叙伝を読むようになった。年間500冊読み続け、心に残る言葉をノートに綴り、日々の想い、行動をブログ(夢のキセキ)に書き続けた。その習慣は今も続けている。

「夢は逃げない。逃げているのは自分」。もう逃げない。限界を決めることなく、使命感を持って努力し続けることを誓った。

地域で安心して暮らしていくために必要とされるリハビリテーションを届けたい思いから、リハ特化型デイサービスの開設を決意。在宅復帰後でも、もっと良くなりたく願う利用者様にとって、自分自身と向き合える場所。運動量、リハの質に日本一との自負を持つサービスは、利用者や地域から高い信頼と評価をいただいている。

今考えると、あの頃の自分は、諦める限界を自分で決めていたのかもしれない。あの人は才能があると決めつけて自分に言い訳をしていた。一番になった人、夢を叶えた人に共通することは、情熱を持って誰もができることを、誰もできないくらいに努力し続けているのだと今なら思える。

全力で仕事に取り組み、人や書物から謙虚に学び、他人や社会のために尽力する努力を続けることの大切さ。「人は出会いの中で成長する」。切磋琢磨できる仲間。メンターの生き様が自身の成長へとつながった。その存在に感謝している。

諦めずに努力をし続けると、いつか夢は実現する。一人の夢が素晴らしい仲間とともに追いかけられる志となった。自分たちの成長が人の幸せとつながることを信じ、これからも仕事を通じて人間力を磨いていきたい。

今後も利用者様の人生に寄り添い、「できることの喜びが、希望になった」。「志を再び=Re ambitious」描ける場所。大切な家族を安心して任せられる地域完結型事業を目指し、「人間・健康・地域づくり」に貢献していきます！